

専門職による死別をめぐる実践 — 個人化社会の共同性 —

本シンポジウムでは、**宗教者**や**医師**による実践に焦点をあて、死別現場の現状や課題、葛藤を報告する。これにより、死との向き合い方を共に模索する関係性はいかに構築されるのかを考える。

日時

2024年**1月27日**（土）16:30～19:30

会場

大谷大学響流館3階メディアホール（会場変更）

〒603-8143 京都市北区小山上総町（地下鉄烏丸線「北大路駅」6番出口すぐ）

ハイブリッド開催（Zoom同時配信）

参加
無料

報告者

磯部美紀（大谷大学真宗総合研究所東京分室PD研究員）

「個人化社会における死別をめぐる様相」

沼口諭（医療法人徳養会沼口医院理事長／日本臨床宗教師会副会長）

「看取り前後の死別現場における医療・介護従事者と宗教者の協働」

長谷暢（東本願寺沖繩別院輪番）

「死別悲嘆する人々の出会い」

井口真紀子（祐ホームクリニック大崎院長／上智大学グリーンケア研究所客員研究員）

「看取りをめぐる共同性—在宅医のインタビュー調査から」

コメンテーター

後藤晴子（大谷大学社会学部現代社会学科講師）

申込方法

対面参加者 : 申込不要
オンライン参加者 : **事前申込制 1月25日（木）締切**
参加申し込みはこちらから
▷<https://forms.gle/mwXuv2RCvCdnuyuw6>



主催 : 大谷大学真宗総合研究所東京分室

〒113-0034 東京都文京区湯島2-19-11

問合せ : kenkyusyo_t@sec.otani.ac.jp